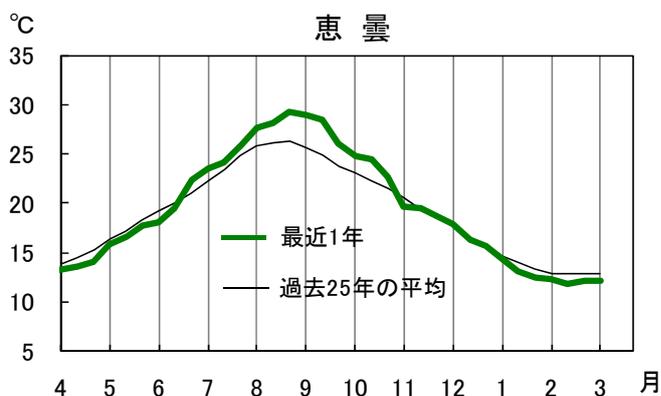
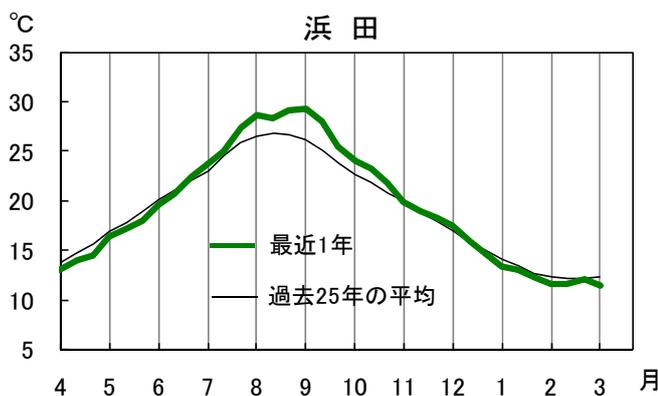




《2～3月の海況》

2月	月平均	平年差	評価
浜田	11.8℃	-0.4℃	やや低め
恵曇	12.1℃	-0.7℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では2月上旬～中旬は「やや低め」で、2月下旬は「平年並み」になりましたが、3月に入り再び「やや低め」で経過しています。一方、恵曇地区では2月中は「やや低め～かなり低め」で、3月に入っても低め傾向が継続しています。



《2月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではサバ類主体の漁況でした。その漁獲量は平年の2倍と好調でしたが、例年この時期に漁獲のあるカタクチイワシやウルメイワシが皆無であったため、総漁獲量は平年並みでした。一方、県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではマアジ、サバ類主体の漁況に加えて、スルメイカ、ブリがまとまって混獲されました。マアジ、サバ類の漁況は平年並みでしたが、スルメイカが平年の5倍、ブリが13倍と平年を上回る漁獲があり、総漁獲量は平年を上回りました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ主体（全体のほぼ100%）の漁況でした。その1隻1航海あたりの漁獲量は平年の1.2倍で平年並みでした。西郷地区（属地5トン以上）でもスルメイカ主体（全体の100%）の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、極めて不調であった前年から好転し、281kgと平年並みでした。2月以降、山陰沖にスルメイカ漁場が形成され、3月に入っても沿岸各地で良好な水揚げが続いているようです。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は12.8トンと、前年・平年を下回りました。マフグが全漁獲の3分の1を占め、平年の2.8倍の漁獲がありました。また、ヒレグロが平年の1.5倍、キダイが平年の1.2倍の漁獲がありましたが、この時期まとまって漁獲されるソウハチは、平年の4割の水揚げに止まり、低調に推移しました。

【小型底びき網漁業】

和江ではソウハチ、ヒレグロ、アカガレイ、久手ではニギス主体の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、和江地区では平年をやや上回りましたが、久手地区では平年並みで推移しました。和江ではキダイ、アカガレイ、アンコウが、久手ではアカムツ、ニギス、アンコウが平年を上回り、好調に推移しました。一方、沖底同様にソウハチは低調であり、平年の4～8割の漁獲に止まりました。

【定置網漁業】

石見地区ではマアジ、サワラ主体の漁況で、その1統当りの漁獲量はマアジが前年の3倍、サワラが前年の12倍と好調で、全統の総漁獲量も前年の5倍でした。出雲地区では総漁獲量の9割がスルメイカで、その1統当りの漁獲量は平年の5.7倍と好調で、全統の総漁獲量も平年の2.9倍でした。隠岐地区でもスルメイカが総漁獲の9割を占め、その1統当りの漁獲量は平年の1.2倍と好調で、全統の総漁獲量も平年の1.2倍でした。

【釣・縄】

石見地区ではメダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は43kgで平年を上回りました。出雲地区ではブリ、スルメイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は82kgで平年を上回りました。隠岐地区ではスルメイカ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は60kgで平年を上回りました。これらの漁獲量（全地区集計値）は、メダイが平年の2倍、ブリが2倍、スルメイカが3倍でいずれも平年を上回る漁況でした。

【平成23年2月の漁獲統計】 本年の漁獲量が0Kgのものは全てをーとし、前年の漁獲量がほぼ0Kgのものは前年比をーとした。

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	サバ類	313トン	73%	109%	16.5トン	50%	79%	○
	西郷	マアジ、サバ類	3,110トン	128%	149%	39.4トン	71%	96%	○
	浦郷	サバ類、マアジ	1,488トン	126%	132%	26.1トン	71%	86%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	211トン	184%	113%	1,334 kg	86%	116%	○
	西郷	スルメイカ	20トン	ー	119%	281 kg	669%	126%	○
沖合 底びき網	浜田	マフグ	308トン	90%	82%	12.8トン	90%	95%	○
小型 底びき網	久手	ニギス	164トン	111%	104%	645 kg	96%	94%	○
	和江	ソウハチ、ヒレグロ、アカガレイ	311トン	122%	131%	843 kg	103%	111%	◎
定置網 (大型)	浜田	冬季休業	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	美保関	スルメイカ	232トン	418%	324%	2,632 kg	365%	318%	◎
	浦郷	スルメイカ	53トン	202%	120%	1,979 kg	172%	105%	○
釣り・縄	仁摩	メダイ	27トン	86%	177%	85 kg	98%	170%	◎
	大社	ブリ	46トン	169%	153%	91 kg	154%	148%	◎
	西郷	メダイ、スルメイカ	12トン	114%	151%	52 kg	139%	137%	◎

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下